

編集後記

中国の武漢を発生源とする新型コロナウイルス感染症の「パンデミック」(世界的大流行)は、世界の各国が営々と創り上げてきた社会・政治・経済・文化・教育等のあらゆる制度・システムの問題点・課題があぶり出されました。アフター・コロナの新しい時代に向けて、デジタル化の遅れを含めて再検討・再構築・改革が求められています。

私達の地域経営学会が掲げるビジョンである「地域社会のニーズに応えると共に、地域社会をリードする学会」、「地域に根差すと共に、世界に拓かれた学会」の実現に向けて、新しいアフター・コロナ時代、デジタル化時代の地域経営学会として研究の推進を図ると共に、その研究成果を当学会誌『地域経営学研究』により社会の公開・公表していくことにします。

4月よりスタートする学会員による「特別委員会」が創設され、①「新しい時代の自治体のあり方の研究と、②「新しい時代の大学の経営・研究・教育・社会貢献のあり方の研究」の二つの特別委員会がスタートします。同時に会員の申請による「スタディグループ」(募集中)もスタートします。「特別委員会」および「スタディグループ」での研究成果は、「中間報告」、「最終報告」として当学会誌『地域経営学研究』に掲載されます。編集委員会としては大変期待しています。学会誌に対するご意見もお願いします。

(学会誌編集委員長 藤永弘)